



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社

コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331

四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	6,722	9.0	622	7.1	664	12.7	500	7.0
2018年12月期第1四半期	6,165	5.2	581	△4.9	589	△14.5	467	△14.2

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 604百万円 (54.6%) 2018年12月期第1四半期 390百万円 (△34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	16.50	ー
2018年12月期第1四半期	15.43	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	34,979	25,805	69.9
2018年12月期	32,149	24,112	75.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 24,453百万円 2018年12月期 24,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	ー	8.00	ー	8.00	16.00
2019年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2019年12月期 (予想)	ー	8.00	ー	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	13,740	9.4	960	0.7	1,010	0.2	690	△11.0	22.76
通期	28,400	9.7	2,320	17.8	2,400	15.4	1,700	8.8	56.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名） 新綜工業股分有限公司

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	30,743,604株	2018年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	422,243株	2018年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	30,321,361株	2018年12月期 1 Q	30,321,559株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きが続いているものの、企業収益が弱含みに推移するなど、景気に足踏み感が見られました。また、米中貿易摩擦による世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行きが不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、製紙業界・印刷インキ業界の需要が総じて低調に推移するなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努め、また、当第1四半期連結会計期間より連結子会社となった新綜工業股份有限公司が加わったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,722百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司が加わったことなどにより、営業利益は622百万円（前年同期比7.1%増）となりました。また、経常利益は為替差損が為替差益に転じたこと、持分法による投資利益の減少などにより664百万円（前年同期比12.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は500百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「印刷インキ用・記録材料用樹脂事業」のセグメント名称を「樹脂事業」に変更しており、新たに連結子会社となった新綜工業股份有限公司の業績が含まれております。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第1四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は650万トンと前年同期比0.4%の減少となりました。需要が前年同期並みとなる中、当社グループは、国内市場・中国市場へ差別化商品の売上増加に努めた結果、当事業の売上高は4,077百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は433百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第1四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は7万7千トンと前年同期比3.0%の減少となりました。当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂・記録材料用樹脂の売上高が減少し、フレキシソ・グラビアインキ用樹脂の売上高が前年同期並みとなりましたが、新綜工業股份有限公司が加わったことにより、当事業の売上高は1,687百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司が加わったことなどにより、セグメント利益は135百万円（前年同期比36.9%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加により957百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は145百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化などによる現金及び預金の増加、商品及び製品の増加、及び短期貸付金の減少などにより流動資産は21,181百万円（前連結会計年度末比832百万円増）となりました。

(固定資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による有形固定資産の増加、及び投資有価証券の減少などにより固定資産は13,798百万円（前連結会計年度末比1,997百万円増）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の増加、その他の流動負債の増加、及び賞与引当金の減少などにより流動負債は7,845百万円（前連結会計年度末比475百万円増）となりました。

(固定負債)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による長期借入金の増加などにより固定負債は1,328百万円（前連結会計年度末比662百万円増）となりました。

(純資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による非支配株主持分の計上、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより、純資産は25,805百万円(前連結会計年度末比1,692百万円増)となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は69.9%となりました。また、有利子負債残高1,540百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.06倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおりに推移しており、2019年2月13日公表の業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,385	2,605,675
受取手形及び売掛金	10,664,515	10,495,122
電子記録債権	1,368,324	1,410,362
商品及び製品	2,184,805	2,499,138
仕掛品	351,125	397,504
原材料及び貯蔵品	1,170,695	1,090,279
短期貸付金	2,939,040	2,439,450
その他	253,358	250,852
貸倒引当金	△4,964	△7,203
流動資産合計	20,348,285	21,181,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,445,747	2,718,412
機械装置及び運搬具(純額)	2,024,894	2,100,558
土地	4,466,994	6,636,780
その他(純額)	479,268	800,499
有形固定資産合計	9,416,904	12,256,251
無形固定資産	74,145	76,751
投資その他の資産		
投資有価証券	1,901,919	999,020
その他	455,873	518,226
貸倒引当金	△47,894	△51,894
投資その他の資産合計	2,309,898	1,465,352
固定資産合計	11,800,948	13,798,355
資産合計	32,149,234	34,979,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,934,200	4,198,154
短期借入金	730,000	730,000
1年内返済予定の長期借入金	—	73,680
未払法人税等	279,873	275,472
賞与引当金	550,685	345,561
その他の引当金	—	15,475
その他	1,875,203	2,207,171
流動負債合計	7,369,963	7,845,513
固定負債		
長期借入金	—	737,059
役員退職慰労引当金	15,925	7,800
退職給付に係る負債	555,700	481,263
資産除去債務	85,448	85,721
その他	9,706	16,959
固定負債合計	666,780	1,328,804
負債合計	8,036,743	9,174,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	20,999,994	21,257,700
自己株式	△105,272	△105,272
株主資本合計	24,460,900	24,718,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,511	352,544
繰延ヘッジ損益	△1,000	△304
為替換算調整勘定	70,156	89,915
退職給付に係る調整累計額	△727,077	△707,181
その他の包括利益累計額合計	△348,410	△265,026
非支配株主持分	—	1,351,639
純資産合計	24,112,490	25,805,219
負債純資産合計	32,149,234	34,979,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	6,165,997	6,722,246
売上原価	4,486,531	4,901,342
売上総利益	1,679,466	1,820,904
販売費及び一般管理費	1,097,947	1,198,121
営業利益	581,519	622,782
営業外収益		
受取利息	1,137	2,116
受取配当金	3,632	3,423
仕入割引	3,952	3,365
持分法による投資利益	23,177	—
為替差益	—	15,371
補助金収入	—	16,298
その他	13,239	6,900
営業外収益合計	45,139	47,476
営業外費用		
支払利息	728	3,046
売上割引	1,684	1,323
為替差損	33,762	—
その他	1,318	1,695
営業外費用合計	37,492	6,065
経常利益	589,166	664,193
特別利益		
固定資産売却益	2	—
会員権売却益	696	—
負ののれん発生益	—	85,367
特別利益合計	698	85,367
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	143	12,229
貸倒引当金繰入額	—	4,000
段階取得に係る差損	—	59,043
特別損失合計	149	75,272
税金等調整前四半期純利益	589,715	674,287
法人税、住民税及び事業税	190,609	210,218
法人税等調整額	△68,628	△60,424
法人税等合計	121,981	149,794
四半期純利益	467,734	524,493
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	24,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	467,734	500,276

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	467,734	524,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,653	43,033
繰延ヘッジ損益	306	696
為替換算調整勘定	△61,275	13,749
退職給付に係る調整額	16,773	19,895
持分法適用会社に対する持分相当額	7,951	2,458
その他の包括利益合計	△76,898	79,832
四半期包括利益	390,835	604,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390,835	583,661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	20,664

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間より、持分法関連会社であった新綜工業股份有限公司の株式を追加取得したことにより連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,027,738	1,283,585	854,673	6,165,997	—	6,165,997
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	74,369	153,472	2,901	230,742	△230,742	—
計	4,102,108	1,437,058	857,574	6,396,740	△230,742	6,165,997
セグメント利益	413,920	99,325	143,258	656,505	△74,986	581,519

(注) 1. 売上高の調整額△230,742千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△74,986千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,077,247	1,687,619	957,379	6,722,246	—	6,722,246
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	46,908	162,893	2,403	212,205	△212,205	—
計	4,124,156	1,850,513	959,783	6,934,452	△212,205	6,722,246
セグメント利益	433,819	135,998	145,322	715,140	△92,357	622,782

(注) 1. 売上高の調整額△212,205千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△92,357千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2019年1月16日付で持分法適用関連会社である新綜工業股份有限公司の株式を追加取得したことにより連結子会社と致しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 新綜工業股份有限公司
事業の内容 工業用粘接着剤の製造・販売

②企業結合を行った主な理由

新綜工業股份有限公司は、中国、台湾を主要市場とした溶剤型及びUV硬化型のアクリル系粘接着剤メーカーであり、優れた商品設計技術力を保有し、顧客ニーズに応える様々な粘接着剤を開発・提供することで、強固な事業基盤を築いております。同社を連結子会社化することで、当社主導の経営による同社との連携の強化及び中国、台湾市場における新たなビジネスチャンスへの迅速かつ確な対応が可能になると考えております。

③企業結合日

2019年1月16日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

⑥取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	34.6%
企業結合日に取得した議決権比率	17.6%
取得後の議決権比率	52.2%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式取得により議決権の52.2%を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年1月1日から2019年3月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

企業結合の直前に所有していた普通株式の	906,840千円
企業結合日における時価	
追加取得の対価	461,282千円
取得原価	1,368,123千円

(注) 上記の金額は取得時点の概算額であり、今後の価格調整等により最終的な取得原価は変動する可能性があります。

(4) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差損 59,043千円

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

手数料等 6,592千円(概算額)

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間又は負ののれん発生益の金額及び発生原因

①発生した負ののれん

85,367千円

なお、負ののれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

②発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として計上しております。

(7) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,228,000	千円
固定資産	2,857,797	
資産合計	4,085,797	
流動負債	538,337	
固定負債	762,995	
負債合計	1,301,332	